

# 瓦礫のある風景

人類の歴史を考えると、人は立派な建造物を築いてきたように思うけれど、わたしたちは粉々になった巨大な瓦礫の山が、みずからの背後でますます積み上げられるのを、毎日目にしている。こうしてわたしたちは生き永らえてゆく。戦争は実に人間の好む行動であり、そこから死と破壊がもたらされる。この作品の各章につけられた表題は、いにしへの画家たちによって描かれた、荒れ果てた廃墟がある風景を思い起こさせる。今日、砕け散った破片と瓦礫、空虚と無知以外、わたしたちは、生命の、文化の、何のしるしも残していない。

この作品はロシアによるウクライナ侵攻のさなか、リトアニアにあるビリニュスの音楽祭のために生まれた。

わたしは、ショパンがポーランド人だったこと、そして彼がリストとともに、パリでイタリア独立運動の活動家のため、資金を集めていたことを思った。そして、文化の自由を消し去ろうとする暴力について考えた。

サルヴァトーレ・シャリーノ (翻訳/杉山 洋一)

## 「ローエングリン」特設サイト

<https://www.kanagawa-kenminhall.com/lohengrin/>



## 舞台芸術講座

マエストロ・サロン・レクチャー

「耳の劇薬 —— あなたもハマる S.シャリーノのささやき」

日程 8月31日(土)

会場 神奈川県民ホール6階 英一番館 (Web配信あり)

講師 杉山洋一(指揮者、作曲家)

進行 沼野雄司(県民ホール・音楽堂 芸術参与)

\*詳細は決まり次第Webサイトで発表いたします

## 託児サービス

予約 イベント託児マザーズ

0120-788-222

(土日祝日を除く)

10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00

9月27日(金)までに要予約

託児料 お一人につき2,000円



## 神奈川県民ホール

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1  
☎045-662-5901(代表) FAX045-641-3184  
<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

●みなとみらい線-洗谷駅から東横線直通で35分 横浜駅から5分  
日本大通り駅から徒歩約8分 元町・中華街駅から徒歩約12分

指定管理者:(公財)神奈川県芸術文化財団

## TICKET チケット情報

料金 全席指定(税込)  
開館50周年記念割引チケット 5,000円 **完売**  
(S席エリア/1階前方、お取り扱いはチケットかながわのみ・枚数限定)  
SS席 10,000円  
S席 8,000円  
A席 6,500円  
学生席 4,000円(24歳以下)

発売日 KAme(かながわメンバーズ)先行発売:6月8日(土)  
一般発売:7月7日(日)

取り扱い チケットかながわ  
0570-015-415 (10時~18時)  
<https://www.kanagawa-kenminhall.com/d/Lohengrin>  
[窓口] 神奈川県民ホール(10時~18時)  
KAAT 神奈川芸術劇場(10時~18時)  
神奈川県立音楽堂(13時~17時/月曜休)



神奈川芸術協会  
<https://kanagawa-geikyo.com/>  
045-453-5080  
(平日10時~18時、土曜10~15時/日曜・祝日休)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:271-340]  
イープラス <https://eplus.jp/>  
ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:31456]  
CNプレイガイド <https://www.cnplayguide.com/>  
カンフェティ <https://www.confetti-web.com/>

※ やむを得ない事情により演奏曲、出演者等が変更になる場合があります。  
※ 就学前のお子様はご入場いただけません。  
※ 車イス・補助犬をお連れでご来場の方は、事前にチケットかながわまでお問合せ・ご予約ください。  
※ 演奏中はご入場いただけません。開演時間に遅れた場合は、案内係の指示に従ってください。

宣伝美術撮影:TOKI / チラシデザイン:畑ユリエ / スタイリスト:清水奈緒美 / ヘアメイク:石川ひろ子 / 衣装協力:tanakadaisuke

主催 神奈川県民ホール(指定管理者:公益財団法人神奈川県芸術文化財団)  
後援 イタリア文化会館  
助成 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 | 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション | 公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団 | 公益財団法人 野村財団 | 公益財団法人 朝日新聞文化財団  
協力 株式会社 東京コンサーツ、合同会社 オフィス山根



# サルヴァトーレ・シャリーノ

出演 橋本愛

神奈川県民ホール開館50周年記念オペラシリーズ Vol. 2

私はこうして、  
解き放たれる。

# ローエングリン

Salvatore Sciarrino  
Lohengrin

2024.10/5 土 17:00 開演, 6 日 14:00 開演  
Sat (16:30 開場), 6 sun (13:30 開場)

神奈川県民ホール 大ホール

サルヴァトーレ・シャリーノ  
ローエングリン





# PROGRAMS

## 「ローエングリン」(1982-84年) [日本語訳上演 \*一部原語上演]

[原作] ジュール・ラフォルク [音楽・台本] サルヴァトーレ・ジャリーノ  
[初演] 1984年9月15日 カタンツァーロ(イタリア)〈初版初演: ミラノ1983年1月15日〉

## 「瓦礫のある風景」(2022年) [日本初演]

[作曲] サルヴァトーレ・ジャリーノ



サルヴァトーレ・ジャリーノ foto Luca Carrà, © Rai Trade

### サルヴァトーレ・ジャリーノ Salvatore Sciarrino

1947年にイタリアのパレルモで生まれ、音楽学校に通わずに自己流で12歳から作曲を始めた。1962年には初のコンサートを開催し、その後、1969年にローマ、1977年にミラノへ移住し、1983年からはウンブリア州のチャタ・ディ・カステッロに居住している。彼の音楽は異なる聴き方や感情的認識を促す独自の要素を持ち、40年以上にわたり驚異的な創造的発展を遂げてきた。彼の作品はRicordi社およびRAI Trade社から出版され、リリースされたCDは100枚以上に及ぶ。また、オペラのリブレットや様々なジャンルの記事の執筆、教育者としても活躍し、ボローニャ市立歌劇場の芸術監督も務めた。ザルツブルク音楽賞(2006年)やヴェネツィア・ビエンナーレから生涯功労賞の金獅子賞(2016年)を受賞するなど、その功績は多く認められている。

「ローエングリン」によせて  
芸術が答えを与えるべきとは思わないが、何かを知りたいという思いが、ついわたしたちを刺激するように、芸術は更に多くの疑問を投げかける。わたしは、魔法で夜のとぼりをおろす音楽家たちと、あるいは交わっているのかもしれない。もうずいぶん時間が経ってしまった。わたしの裡からこのオペラがますます解き放たれてゆくを感じながら、同時に(妙なものだが)、自分の奥深くでしっかり根を生やしているのもわかる。  
言葉をつかうと、作品を有機的に成立させているものを、分析、つまり壊してしまうから、あまり多くを語るすべはない。だがオペラの輪郭をたどれば、先ず主人公の人格が、さまざまな別の顔を持っていると気づくはずだ。しかし、それらを引きはがすのは勧められない。  
その姿は混沌として、神羅万象の渦巻く宇宙創生のようだ。主人公は現実から強力な宇宙を創りあげている。わたしたちと世界との出会いは、創造的な一面もあるけれど、それを見出すのも生み出すのも、わたしたち自身だ。彼女が病的でさえある部分は、憐みをさそうだろう。エルザは病んでいて、自らを映しだす他者とつながっている。果たして一体何が現実で、何が幻影なのだろうか。

サルヴァトーレ・ジャリーノ (翻訳/杉山 洋一)

# COMMENTS

「演出・美術」吉開菜央  
エルザが人格を幾重にも分裂させ、獣の声や雫の音など、人間以外の音もたった一人で発声する様は、何かを演じているというよりも、嘘ではなく本当に、対象に憑依するのに近いことが起きているように感じます。本来であれば見えない、聴こえない、感じられないものも、見える、聴こえる、感じられるまで、強く受け取ろうとすることで、五感のあらゆるチャンネルが開き、知覚のリミッターが外れ、大小無数の情報が、エルザの内と外で永遠に終わらない感応(相互作用)を繰り返し、心身を触媒とした複雑精緻な曼荼羅模様のような宇宙が、この世に爆誕してしまう。それはそれで、一つの生き物のあり方として美しいのではないかと思います。「狂う」という生き物のモード(状態)を現前させる橋本愛さんの45分間の心身に、ぜひ全身全霊で、立ち会っていただきたいです。

「演出・美術」山崎阿弥  
声は、絶えず見ていた、呼吸という命の断続を時折輝かせて。眼差しは本来誰のものでもなく、その輝きがそこに在るだけのことだった。やがて光が世界に反映し、たゆたう相似たちに名が与えられ、あなたは陰に潜み、彼女だけを孤独に、見られる対象にした。けれどここで、ずっと眼差されてきた彼女が、あなたの方へ向き直り、眼差しを浴びせ始める瞬間に、あなたは立ち会うだろう。あなたは、どこにも隠れることを許されず、揺れ、燃え、震え、生きていることを知らされ、気づけば視線の先に彼女の姿であなたが立っている。  
この物語に、ひとり、ひとりが攫われていくことを願います。橋本愛の声が眼差す輝きを、心から信じています。

声のアーティスト・美術家

# STAFF / CAST

●「ローエングリン」出演 ◆「瓦礫のある風景」出演

[音楽・台本] サルヴァトーレ・ジャリーノ [訳辞] 大崎 清夏 [演出・美術] 吉開 菜央・山崎 阿弥

[指揮] ●●

## 杉山 洋一

1969年東京都出身。作曲を三善晃、フランコ・ドナトーニ、サンドロ・ゴルリに、指揮をエミリオ・ポマリコ、岡部守弘に師事。作曲家としてミラノ・ムジカ、ヴェネツィア・ビエンナーレをはじめ、国内外より多くの委嘱を受ける。指揮者としてNHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ヴェローナ野外劇場管弦楽団など日欧で活躍。プロデューサーとして、高橋悠治作品演奏会I「歌垣」(2018)、同II「般若波羅蜜多」(2019)、同III「フォノジェウス」(2021)、松平頼暁のオペラ『The Provocators ~ 挑発者たち』(2018)、フェニーチェ堺「武満徹ミニフェスティバル」(2019)などに携わり、いずれも指揮も担当した。第68回芸術選奨文部科学大臣新人賞、第74回同大臣賞受賞。作曲家として第13回佐治敬三賞、第2回一柳慧コンテンポラリー賞受賞。指揮者として第22回齋藤彦雄メモリアル基金賞受賞。1995年よりミラノ在任。ミラノ市立クラウドイオ・アバド音楽院教授。

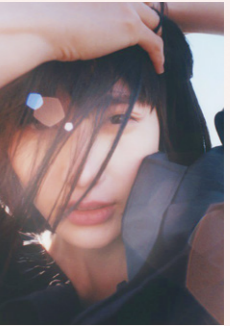


©Ayumi Kakamu

[出演] エルザ役 ●

## 橋本 愛

1996年1月12日生まれ 熊本県出身。2010年「Give and Go」で映画初出演初主演。同年映画「告白」に出演し注目を浴びる。2013年に映画「桐島、部活やめるってよ」などで数々の映画賞を受賞。同年NHK連続テレビ小説「あまちゃん」に出演し幅広い年齢から認知された。その後、NHK大河ドラマ「西郷どん」(2018)、「いだてん〜東京オリムピック噺〜」(2019)と2年連続大河ドラマ出演を果たし、2021年度「青天を衝け」では大河ドラマ初のヒロイン役を務める。近年の主な出演作は、「家庭教師のトラコ」(2022/NTV)、Netflixシリーズ「舞妓さんちのまかないさん」(2023)、「アナウンサーたちの戦争」「デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士」(2023/NHK)、映画「熱のあとに」『ハビネス』(2024)など。また、歌手としての活動も行っており、『THE FIRST TAKE』にて『木綿のハンカチーフ』を歌唱し話題になり、『筒美京平トリビュート』に参加した。独自の感性を生かし、ファッション、写真、コラムなどの連載を持ち幅広く活躍中。



[演奏]



成田 達輝  
●● ヴァイオリン  
コンサートマスター



百留 敬雄  
● ヴァイオリン



東条 慧  
● ヴィオラ



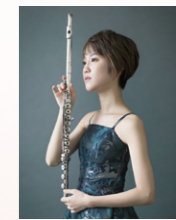
笹沼 樹  
●● チェロ



加藤 雄太  
●● コントラバス



齋藤 志野  
●● フルート



山本 英  
● フルート



鷹栖 美恵子  
●● オーボエ



田中 香織  
●● クラリネット



マルコス・ペレス・ミランダ  
● クラリネット



鈴木 一成  
● ファゴット



岡野 公孝  
● ファゴット



福川 伸陽  
● ホルン



守岡 未央  
● トランペット



古賀 光  
● トロンボーン



新野 将之  
●● 打楽器



金沢 青児  
● テノール



松平 敬  
● バリトン



新見 準平  
● バス



山田 剛史  
● ピアノ



藤元 高輝  
● ギター

[振付] 柿崎麻莉子 [照明] 高田政義 [音響] 菊地徹 [衣裳] 幾左田千佳 [副指揮] 矢野雄太 [音楽アシスタント] 小松桃、市橋杏子、眞壁謙太郎 [演出助手] 田丸一宏 [スタイリング] 清水奈緒美 [ヘアメイク] 石川ひろ子 [舞台監督] 山貫理恵 [ステージマネージャー] 杉浦友彦 [プロダクションマネージャー] 大平久美 [制作] 神奈川県民ホール、山根悟郎、坂元恵海 [県民ホール・音楽堂 芸術参与] 沼野雄司 [名誉芸術総監督] 團伊玖磨、一柳慧